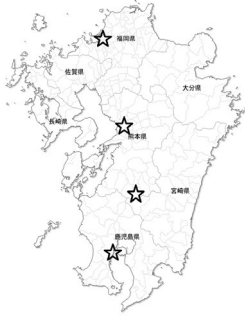


九州正教会だより 第50号



(人吉・鹿児島・熊本・福岡)

2023年11月1日発行

発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒868-0081 熊本県人吉市上林町979-5 人吉司祭館

TEL / FAX 0966-24-7861

mail ocj.kyushu@gmail.com

ウェブサイト <https://www.ocj-kyushu.com/>



次世代への信仰の継承

司祭グリゴリイ 水野 宏

この度、わが日本正教会は新たな指導者として、セラフィム辻永昇大主教（写真）を全日本の府主教に戴きました。

10月22日に行われた着座式で、新府主教は「日本正教会は世代交代の時を迫られている。自分の役割は、教会を次の世代に引き渡すための下地作りに徹することだ」と述べました。とかくトップ就任の所信表明では、できもしない大見得を切って人を煙に巻いたり、見え透いた美辞麗句を並べてお茶を濁したりするような人ばかりですが、新府主教の発言は本音そのものであり、何と正直で誠実な物言いをされるのかと感じ入りました。

また、セラフィム新府主教は、着座式後に開かれた祝賀会の挨拶でこう述べました。

「いまの日本正教会の信徒は『信仰の喜び』を感じているのかどうか。」「信仰というのは何か難しいことをしろと言うのではない。食事の前にでも、さらにそれが一日に一回でも、祈ることができるかどうか。そういう日々の生活習慣の中にある。」

これらの新府主教の言葉に示されているのは「この素晴らしい正教会の信仰を次世代に継承することの大切さ」に尽きると私は考えます。

よく「うちの教会は若い人が来なくて年寄りばかりで」と嘆く声を耳にしますが、それが教会の世代交代問題だとは思いません。若かろうが年寄りだろうが、神を信じることが自分の中で何らかの喜びなり希望なりに結びつかない人には、教会以前に信仰自体が無意味だからです。そして家族の一人ひとりが、各自の日常のどこかで信仰によって喜びを得られたと感じられるならば、そこに世代を超えた「信仰の継承」が成り立つのだとも考えます。

図らずも、セラフィム新府主教の教団代表としての事実上の初仕事の一つが、わが九州に新たな教会を立ち上げることへの承認でした。これをしっかりと受け止めて、来る人に「ここに通いたい」と思わせる喜びを与え、それをさらに次の世代にも引き継いで行くことができるような教会造りに邁進して参ります。全日本の府主教セラフィム座下、幾とせも！